

課題 No. 8

「大丈夫かしら、そのホコリ」

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

Block. 6



シート1

山本貴子さんは小学3年生の男の子のお母さんです。今日、息子さんが通っている小学校から、体育館の屋根の補修工事のおしらせが届きました。何でも、天井からでるホコリが将来、子供達の健康に害を及ぼす恐れがあるので工事をするそうです。

シート2

補修工事の説明会での話は次のようなものでした。「天井からのホコリは、天井の梁に吹き付けられている防火材からはがれ落ちたものです。ホコリには有害な物質が含まれており、これを吸うことで将来、健康障害が起こる危険があることが報告されています。しかし、実際のホコリの量は極めて少ないのでその危険性は現状ではほとんどないと言ってよいでしょう。ただし、今後老朽化によりホコリの量が増える可能性があるので、念のため今のうち工事をするのです。」

この話を聞いた貴子さんは、「でも、そういえばうちの子は最近苦しうに呼吸をする時があるし、今は問題ないなんて言ってるけど、本当に大丈夫なのかしら...」と、不安で仕方ありません。

シート3

数日後、たまたま読んでいた新聞で「造船所作業者にがん多発。石綿（アスベスト）が原因？」という記事を見つけてびっくりしてしまいました。確か、ほこりに含まれる有害な物質というのはアスベストだったからです。記事によれば、昔、造船所で働いていた人々の間に、普通はあまりみられない胸膜の悪性腫瘍が多発していて、これはクロシドライトというアスベストを吸い込んだことによるのではないかという疫学調査が発表されたというのです。その記事の中で、アスベストはたくさん吸い込むと、アスベスト肺という病気も起こすことを知りました。「でも、たくさんというのはどの位なのかしら？仕事をしていて吸い込む量とうちの子が学校で吸い込む量とはそんなに違うのかしら？」

シート4

そのまた数日後、テレビでアスベスト問題が特集されているのを見つけました。番組では、アスベスト作業者の健康補償問題を取り上げていて、職場では特別な健康診断があることも知りましたが、ニュースキャスターは、わが国の職場における曝露の許容基準が他の国よりも甘いことを非難していました。